

第4学年 学級活動(2)

題材「気持ちのよいあいさつ」



令和元年5月23日
授業者：三津山 友章

<自発的・自治的な活動を充実させる工夫>

事前調査の提示・ICT機器の活用

事前に行った児童へのアンケート結果と児童の挨拶の様子を映した動画を示し、自分たちが思っている実態とは違うことを確認させ、題材に対する意識をもたせます。

また、理想となる集団の挨拶と自分たちの挨拶の様子を比べて状況を把握させます。これにより、児童に課題を自ら発見し、解決しようとする主体的な態度で活動に取り組むようにします。

<自己肯定感・自己有用感を高める工夫>

少人数での話し合い活動

原因を追究する場面では、学級の友達との交流を行い、問題解決に向けて少人数グループで話し合い活動を行います。少人数で話し合うことで、全体では、埋もれてしまいがちな多様な考えを認め合うことができるようになります。



<自己肯定感・自己有用感を高める工夫>

家庭との連携

交通ボランティアをしている保護者からの手紙を紹介します。手紙を通して交通ボランティアの方の思いを知り、相手の気持ちを考えて挨拶をすることの大切さを感じさせ、それにより、よりよく人と関わろうという気持ちを養うことができますようにします。



<自発的・自治的な活動を充実させる工夫>

事前の題材の提示

事前に考えた挨拶のめあてを学習後に再考させる活動を行います。この活動を通して、自分の意識の変化を把握できるようにします。また、「がんばる」などの抽象的な部分を具体性が伴う方法に置き換えさせていく活動を行います。このことで、期間を設けて挨拶に取り組んだ際には、挨拶への意識を高め、よい挨拶を習慣化していくことができますようにします。